

《ご利用ください》

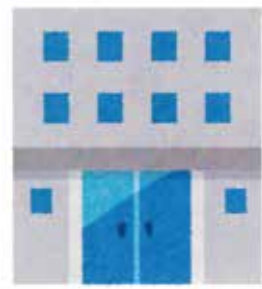
公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ再就職・出向等の

送出企業

お手伝いをしています

受入企業



産業雇用
安定
センター



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します。
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

●47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。

(ご利用は無料です)

- 原則離職後6か月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。



お気軽にお問い合わせ・ご相談ください

公益財団法人

産業雇用安定センター 鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB



令和2年度 公益社団法人

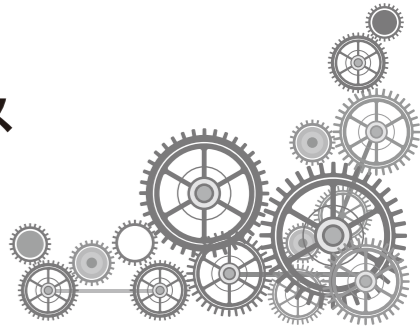
鹿児島県工業倶楽部通常総会

News:新型コロナウイルス対策で活躍する新ビジネス

プラザの今年度の活動紹介

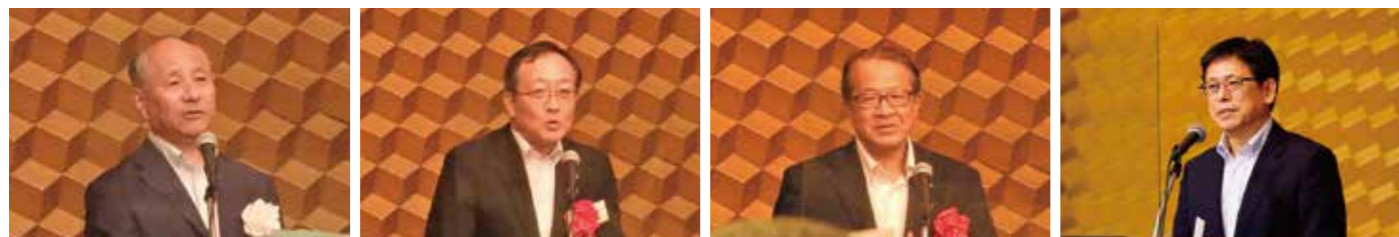
次代を担う若手経営者紹介

新会員情報



公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部通常総会

◆日時/令和2年6月29日(月) ◆会場/城山ホテル鹿児島(クリスタルガーデン)



開会のあいさつ
[岩元正孝会長]

祝辞
[岩井久鹿児島大学副学長]

祝辞
[五田嘉博県商工労働水産部長]

記念講演会
[国立研究開発法人産総研 富永健一氏]



(株)久永[野田潤氏]

アルバック九州(株)[末重公德氏]

(株)食品安全推進センター[佐々木智康氏]

新副会長挨拶

令和2年度通常総会が開催され、令和元年度事業報告及び決算が承認された後、役員改選では新理事・監事が選出されました。その後、令和2年度事業計画及び収支予算が報告され、今年度も、工業倶楽部では、異業種交流による新たなビジネス展開、IT化による生産性と顧客満足を向上させるための取組、さらにコロナによる大きな変化の中でも持続可能な産業や事業を構築する取組への支援に努めます。

総会後、理事会が開かれ、今期の会長・副会長が決定し、新たに、(株)サナス代表取締役社長の本坊一浩氏が副会長に選出されました。

その後、国立研究開発法人産業技術総合研究所食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ副ラボ長の富永健一氏が「未活用生物資源を用いた食・薬・材の創生」というテーマで講演を行いました。講演では、認知症や非アルコール性脂肪性肝炎などに効果のある機能性成分を、ありふれた国内産原料を触媒技術によって変換させて発現させる技術が紹介され、地球上の様々な生物資源の高機能化・高付加価値化が実現できるという大変興味深い取組に会員からは活発な質疑がなされました。

また、プレゼンテーションコーナーでは、(株)久永「ワークスタイル変革～テレワーク導入のポイント」、アルバック九州(株)「真空技術 未来への期待」、(株)食品安全推進センター「食品衛生管理(HACCP)の制度化について」、鹿児島県知財総合支援窓口「知的総合支援窓口に関する事業紹介」の4社によるプレゼンテーションが行なわれました。

その後、交流パーティーでは、中村かおり鹿児島県副知事が出席され、活発な情報交換が行われました。



議長 弓場秋信氏



交流パーティー中村副知事あいさつ

乾杯[岩井久鹿児島大学副学長]

News

新型コロナウイルス対策で活躍する新ビジネス



体温とマスク着用をAIが自動検知!

サーバー不要でカメラ端末1台から運用!

■お問い合わせ先
株式会社久永 i-Con 推進室
TEL099-210-0555

AI 体温検知カメラのご紹介

ウィズコロナの働き方として欠かせない、入室者の検温やマスク着用の有無の確認は、どのようにして管理されているでしょうか。

最近よく見かけるのは、入り口に検温する係の方が一人一人検温する姿をよく見かけます。マスク着用の確認も、その時に目視で行っているというケースが多いようです。

AI体温検知カメラなら、カメラに顔をかざすだけで『体温の測定』と『マスク着用の有無』の2点を自動検知します。非対面で行えるので、係員をつける必要はなくなります。

さらに、エントランスゲートのシステムと連動すれば、『37.5度以上の熱がある場合はゲートが開かない』といった設定も可能になります。

工場勤務等の方は、同じ空間で仕事をするケースが多いので、エントランスに1つ設置するだけで、感染拡大のリスクは抑制できます。

電源1つさえあれば設置可能と、取り付けが簡単な点も魅力的。

非対面による入室制限で、安心して働ける職場環境を整備していきませんか。

光触媒空気浄化装置

一般の塵を除去する空気清浄機より格段に優れた効果を発揮し、ウイルスの侵入を防ぐ「光触媒空気浄化装置」。

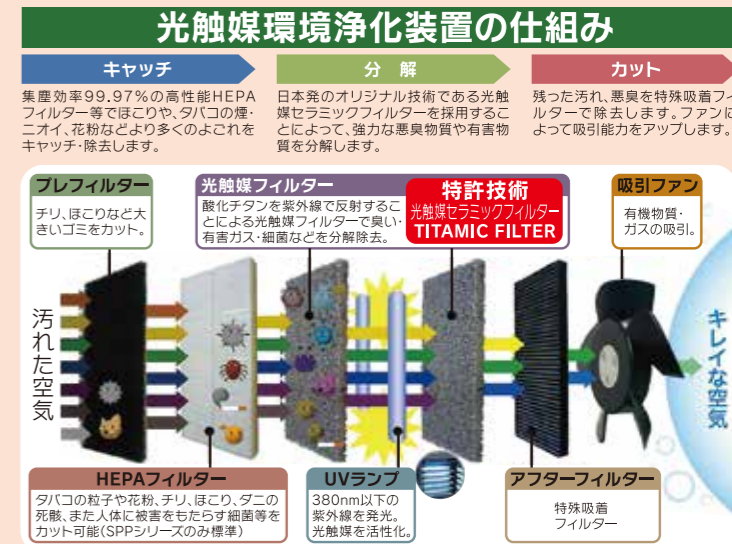
光触媒空気清浄機の原理・・・セラミックに酸化チタンを混合し、多孔質フィルターに整形。

HEPAフィルターで塵を除き、このセラミックフィルターに紫外線を当てると(文化勲章受章者の藤嶋昭先生が発見した)酸化還元作用で、通過する雑菌や臭い菌を分解します。

部屋の空気を循環させると密閉空間の雑菌や臭いをほぼ完全に消滅させます。

部屋の大きさに応じて機種を選別できます。

新幹線の喫煙室や公共施設、大学、病院等で広く使用されております。



■お問い合わせ先
マトヤ技研工業株式会社 TEL099-210-0555

森のお医者さん生まれの除菌スプレー graska

OEM 商品として除菌スプレーの販売を開始いたしました。

モミの木精油を化学薬品を使用せずに水だけで乳化した、カラダに無害の除菌/抗菌スプレー。アルコールフリー、100%天然由来のため、お口の中にもご使用いただけます。普段手入れが行き届きにくい、携帯用歯ブラシや、磨いた後の入れ歯の除菌方法について相談を受けている中で、新型コロナウイルス感染症拡大がきっかけとなり、吹きかけるだけで簡単に除菌ができるスプレーの販売を開始いたしました。

30mlという持ち運びしやすいサイズであるところもポイントです。

外出中の手指やマスクに付着した菌が気になった時にすぐお使いいただけます。感染症拡大の渦中で、口腔ケアが見直されています。口腔ケアには口腔内を清潔に保つことだけでなく、口腔機能(嚙む・飲み込む・呼吸する等)の低下を防ぐことや、糖尿病や誤嚥性肺炎などの全身疾患、感染症を予防する効果もあります。

手軽にできる口腔ケアから始めましょう。



口腔ケア

除菌抗菌

消臭防カビ

ウイルス不活化

■お問い合わせ先
(有)アジャスト
TEL099-802-4024

※会員の皆様からの情報提供で構成しました。

地域の未来を創る、次代を担う若手経営者紹介

みなぎる好奇心が今を創り、その経験を通して、新しいコトへ挑む日々！
鹿児島への想いや、協力してくださった人々への感謝の気持ちなど、文字に表現できない程お話しいただきました。
辛酸・苦悩・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を期待いたします。

お客様に寄り添う、ストーリーのある焼酎づくりを創造し、目指したい。

明治36年創業、私で4代目になります。

平成28年12月に代表取締役就任しました。社長ではありますが、焼酎づくり(現場)の製造責任者である杜氏を兼ねています。通常社長業といえば、他経営者との顔づくり、社の方針、営業、資金繰り等がメインかと思えます。もちろん私も営業もすれば、資金のことも考えていますがさらに製造責任者として現場に入っています。

社是は「飲み手の笑顔のために美味しい焼酎づくり」杜氏として最高のものを飲み手に提供したい、焼酎を通して飲み手の心を少しでも豊かにすることが出来れば嬉しいですね。そのために、まずは製品の品質からだと思いつつ製造責任者になりました。自らが現場に入ることによって、必要な設備投資を積極的に行うようになりました。逆に過剰な設備を控えることにより、丁度良い設備になってきたと感じています。また過剰な設備投資にならないように現場を知ることとはとても必要なことだと感じています。自分の場合は製造責任者も兼ねているので、品質に対する責任を考えると、さらに踏み込んだ形での経営者でしょうか？

焼酎の味わいも、ここ20年で麹やさつまいもの品種違いで、いままでなかった味わいや香の焼酎が各蔵から多く出されてきました。弊社も「紅はるか」という品種を使い、香りが従来品とはまったく違う焼酎が出来上がりました。



宇都酒造(株)
代表取締役・杜氏 宇都 尋智

〒897-1125 南さつま市 加世田益山2431
TEL:0993-53-2260 FAX:0993-52-8882
E-mail:sakezukihayato@gmail.com

巨峰やストロベリーの香りを持ち、口当たりがなめらかで甘い焼酎になったことで、全日空さんの国際線機内販売で採用された実績があります。香の特性上、女性にも人気があり、高めの価格帯にもかかわらずリピーターがついている商品です。

これから意識して取り組もうと思っている事は、昔からある画一的な一つの商品が大勢の人に売るのでなく、極端に言うとなれば個々に対する売り方を考えて一人ずつのニーズを探していこうと思っています。きっとそこには小さくても魅力的なマーケットがあると信じています。

もう一つは、地元の食と焼酎の関係性をもっと前面に出して、地域と一緒に伸びて行けたらと思っています。南さつまには美味しい肉や魚がたくさんあります。食べ合わせや、呑むときの環境、飲む相手によっても美味しさは違ってくると思うんですよ。例えば自然一杯の場所にテントを張って友人達と飲んだり、雰囲気ある場所で室内飲みしたり、そこで地域の良い食材を食べながら美味しい焼酎を飲む、そんなシチュエーションをどう提案していくが大切だと思っています。

これからは、商品だけでなく飲み手の方がイメージできるシーンまで合わせて提供できればと考えています。



各プラザの紹介と令和2年度の活動方針、抱負など

若手経営者プラザ

代表者: 榎中崎電子工業 代表取締役社長
FMぎんが 局長 中崎 啓文



若手経営者プラザは概ね50歳以下のメンバーで構成される会です。不定期ですが2ヶ月に1回ほどのペースで例会を開催しています。活動内容としては、プラザメンバーが持ち回りで行うそれぞれの仕事内容についてのプレゼンを中心に、工業倶楽部の先輩方や他のプラザとの交流を併せて行っています。今年度は、このプラザでの活動がメンバーそれぞれにとってより有意義な時間となるにはどうしたらよいか?について試行錯誤を繰り返しながら、様々なスタイルの例会にもチャレンジし、ひいては未来の工業倶楽部の在り方にもつながるような活動ができればと考えています。

84プラザ

代表者: 宝来メテック(株) 代表取締役社長 寶来 豊晴



84プラザはこれまで多数の主メーカー・生産者寄りの、モノづくり(農産、水産を含む)を基本とした講師に講演をお願いしてまいりました。これまで本当に素晴らしいものがこの鹿児島県においても多数開発、生産、販売されていることに大変感動しました。しかしながら、こんなに素晴らしい商品がなぜ他県品に負けたり、あまり数量が出なかったり、知られていなかったりするののかということも感じ、84プラザでは今年度の活動方針を、マーケティングを中心に据えたいと思っています。イメージを作る、市場を作る、ブームを作る、知名度を作る、というソフトを作ることを勉強したいと思います。

大隅半島地区プラザ

代表者: マトヤ技研工業(株) 代表取締役 益留 福一



焼酎や食肉、食鳥、魚、野菜等食品会社がたくさんある大隅半島全域が対象地域で、面積が広く遠隔地のハンテが有りますが、3年前から会員で無い方々や役所にも声を掛け、活発に活動しています。活動内容は会員企業の講演や、コンサルタントの先生の講演などを行い、会終了後の美味しい黒豚、黒牛のしゃぶしゃぶが楽しみです。会員の増強が課題ですが、鹿児島市まで1時間半ほど要し地理的に恵まれていないため魅力あるテーマの選定が大事だと考えております。新型コロナウイルスの逆風の中ですが、ビジネスを行いながら勧誘活動を行いたいと思います。

出水プラザ

代表者: 鶴田 均



出水プラザは未来への投資として、次の時代に地域の歴史や環境、自然的特性をどのように活かしているか探求しています。しかし、複雑な社会構造は簡単に答えてくれません。本地域は農業、漁業の第一次産業を主幹として、食文化の発展を基軸に創意工夫し、お互いの知恵を学び、地域社会の一端を担うプラザとして活動していきたいと思っています。

始良・霧島地区プラザ

始良・霧島地区プラザは、平成28年10月に発足以来、幅広い業種の方々と交流を行っております。これまで「工業技術センターの活動紹介」「人材確保対策」はたまた「霧島ジオパークの魅力」「しょうちゅうガールの挑戦」「ワインについて」など、硬軟織り交ぜた様々なテーマを選定し勉強会を開催してきました。

地域資源活用プラザ

代表者: 門 久義



当プラザは、2016年に開設され、「会員相互の親睦を深め、異業種中小企業者等による新分野の開拓を促進し、中小企業の創意ある向上発展を図ることを目的に、緩やかな交流組織」として活動しています。当プラザは、鹿大名誉教授と現職教授による会員の方々だけでなく、鹿大名誉教授会「樟寿会」の会員の方々にもアドバイザーとして協力を頂いています。新規開発や技術的問題、経営問題などで大学との共同研究に馴染まない問題についてサポートすることを目的としています。今回のコロナ禍の経験に基づき、地域の活力向上にも貢献できることが大切であると考えています。当プラザへの依頼は、工業倶楽部の事務局まで。

プラザいもづる

世話人: 南日汽缶工業(株) 代表取締役社長 本村 嘉啓



当プラザは、2004年にプラザ21他いくつかのプラザを統合して設立されました。“いもづる”の名前は、メンバー間のつながりを大切に、との願いからと聞いています。そのためか、会の中心は懇談です。このところコロナの影響でお休みしていましたが、基本毎月例会を開催し、乾杯からメンバーの近況報告、業界秘話、旬の話題と話は尽きません。とはいえ昨年の活動を振り返ってみると、会員の職場訪問、県内の一泊旅行、講師を招いての勉強会等、けっこう幅広い内容です。仕事と関係の無い飲み友達が欲しくなったら、ぜひご参加下さい。

プラザ八日会

代表者: クルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株) 専務取締役 / 薩摩川内事務所 小谷 俊明



91年から始まった、「八日会」メンバーは、経営者としても、人生の経験者としても思慮深く、見識の高い方の集まりです。毎月の定例会にて、メンバーの体験談や世の中の情報を共有し、生きた経営ノウハウを学び合っています。また、独自にベトナムや台湾への海外研修を行います。今後は、「鹿児島を元気にしたい!」という想いから、若手や女性経営者も気軽に参加でき会員同士の互助的な育成ができる環境づくりを目指したい。海外にも積極的に学びたい、益々エネルギー溢れる八日会、皆様ご指導のほどよろしくお願い致します。

川薩地区プラザ

代表者: 小城製粉(株) 取締役会長 小城 年久



川薩地区プラザは、2か月に1回、その時々トピックスに関連した講話や会員による講話など活発に活動しています。昨年は「災害にこれからどう向き合うか〜水処理から落雷・地震」、「オランダ農業視察報告」等幅広いテーマで学びを深め、懇親会では講師や会員同士の情報交換で、アイデアをカタチあるものへと実現する機会を作る場としています。今後も、「会話する」ことで、これまで以上に幅広い見識を得る、業種を超えての人と人の出会いの場を目指します。

最近では、1月に「霧島茶3年連続日本一受賞の秘訣を探る!」と題し、霧島市農政畜産課主査阿部弘光氏を講師に迎え、お話を伺った後、美味しいお茶の入れ方を実演していただきました。始良・霧島地区には、様々な分野で活躍されている方が数多くいらっしゃいます。講師としてお招きするなどし、これからも楽しく、そして知見を広められるような企画を開催してまいります。

株式会社 ケーアイシー 代表取締役会長 荒牧 睦

この度入会させて頂きました。株式会社ケーアイシーの荒牧睦と申します。当社は平成17年6月、鹿児島県と立地協定を締結し、当時の始良郡横川町(現在の霧島市横川町)に進出し、各種産業機器の製造業を行って参りました。また、当社のグループ会社には「物を運ぶ」物流会社と「人材を提供する」派遣会社があり、各社が連携して、お客様の視点に立つことを第一に考え、新たな付加価値を生む想像力と確かな技術力でサービスを提供できるように日々精進しております。今後とも鹿児島県の産業発展のため、微力ながら協力させて頂く所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



株式会社 旭ケミカルス
鹿児島営業所長 福留 輝美

『喜ばれるサービス』を社是とし、お客様の“こうなってほしい、こうしたい”という本質的なニーズをつかみ取りそれを解決する為に必要なモノを提案することを信条として続けている技術商社です。

機器部品製品・製造ラインや製品の中に使われる機器や部品(ガスケット・パッキン・バルブ)食品向け製品・超精密濾過フィルター、ケミカル向け特殊配管・サニタリー配管、表面処理製品・粉体用非粘着処理(コーティング、ライニング等)

近年では環境、省エネに関わる製品を扱ってお客様に喜ばれていると自負しております。このように様々な分野の取引先からご支援を頂き、技術商社として60余年続けて参りました。その経験と知識を活かして、単に部品のご提供のみではなくカスタマイズした製品が大半になっております。さらに中国、ベトナムの拠点からも世界のモノづくりへとつながってゆく、「つなぐ商社」としての役割をこれからも旭ケミカルスは担い続けていきます。最後になりますが、鹿児島県の産業発展の為、各企業様との協調を図り鹿児島県全産業へお役に立てれば幸いです。

鹿児島大学名誉教授 菅沼 俊彦

今回個人会員として入会させていただきました鹿児島大学名誉教授の菅沼俊彦です。1947年生まれで、竹田靖史先生と同じ京都出身です。京都大学農学部食品工学科を卒業し、鮫島吉廣先生は一年先輩です。1978年5月に鹿児島大学農学部に着任し、2013年3月に定年退職しました。その後2018年まで放送大学鹿児島学習センター所長をしました。センターでは門久義先生と一緒にいました。専門は糖質化学・農産製造学で、研究テーマはサツマイモの利用法の開発です。西酒造との産学協同で「もちろみ固液分離によるゼロエミッション焼酎製造法の開発」について、NEDOや農水事業として10年ほど主導しました。飲ん方では鹿児島生まれの家に太刀打ちできないので、現在テニス・卓球・カラオケを日課として「家外」活動に努めています。どうぞ宜しくお願いいたします。



NEW FACE

共に鹿児島の産業を興し
造っていきましょう。

鹿児島の産業の発展の
ために、新しい風を。

新会員紹介 コーナー

株式会社アイロード
代表取締役 福永 栄子(本名:小池 栄子)



人と人、地域と地域を「愛」でつなぐ(株)アイロードの代表で、地域交流誌「みちくさ」編集長の福永栄子です。今からちょうど20年前、東京から南九州にアイターンし、すぐに「みちくさ」を創刊しました。以来、おかげさまで、多くのすばらしい人々との出会いをいただき、それが最上の喜びとなり、大切なものになりました。私の使命は、その出会いを通じて得たものを、皆様に提供していくことであると信じ、愛の道で、地域交流や物産、旅行商品の販売、観光のコーディネートや人材育成などに関わらせていただいています。そう、弊社の主な商品は、人と人のつながり。「ローカルエリアネットワーク、心のLAN 設置します」を合言葉に、皆さまの心にうおいをあたえることができるようなコンテンツデザインの仕事を中心に地域をデザインするため、歩き続けようと思います。

令和元年10月に入会させて頂きましたCRS株式会社(Create River&Sea Corporation)の内村と申します。弊社は東京に本社を置き、河川・海岸工事の設計・施工およびPca製品の製造、販売等を主に行う総合建設業です。鹿児島支店においては、近年日本沿岸海域の磯焼け(海の砂漠化)においてこれまでの経験と知識を活かし、藻場再生礁の開発・製造に鹿児島大学と共同研究を行っているところです。また、新たに今年4月より、薩摩川内市入来町に研究所を設け、地域資源を活かした研究開発として、産業廃棄物とされる焼酎粕等の主原料を用い、超高速減圧攪拌乾燥システム装置と除菌・消臭剤を活用した、鹿児島大学初となる「CRS・鹿児島大学資源循環システム共同研究講座」を締結し、現在研究開発中です。今後共宜しくお願いたします。

株式会社
食品安全推進センター
代表取締役社長
佐々木 智康



農水省を早期退職して45歳で鹿児島に戻りました。鹿児島は観光や農・食等の資源が多く、様々な特技や尖った考え方を持った人的資源の宝庫です。しかし、鹿児島は井の中の蛙状態で、新しい考え等を受け付けず、俺が私かとみんなが1番になりたがり、「外」から見ればとても滑稽です。老若男女問わずいろいろな方が「連携」して、地元鹿児島を盛り上げていく起爆剤の一助として、活動を行っていく所存です。まだまだ若輩者ですが、先輩方のご指導ご鞭撻の下で、鹿児島のために頑張りたいです。よろしくお願い申し上げます。

鹿児島県立短期大学 学長
塩地 洋



今年4月に鹿児島県立短期大学の学長に着任しました。生まれは和歌山で祖父は鯉節の工場をしていました。鹿児島の鯉節文化に自然と巻き込まれていきます。1974年に京都大学入学以降、学部生、院生そして教員として41年間京都大学に在籍していましたが、教員時代は年に2カ月程度は海外調査に出ていました。自動車産業の国際比較をテーマに79カ国、8,000カ所の現地取材を行ない、36回の国際学会報告、31回の海外講演を行いました。そうした海外での経験をぜひ県立短期大学の学生に伝えたいと思います。と同時に国際人として海外で活躍するためにも学生が自らのアイデンティティを知ることが重要だと考えております。その意味で鹿児島の郷土知を深めることを重視していきたいと思っています。

ウェイク・アップシステム
代表 水口 毅



ウェイク・アップシステム代表の水口毅と申します。弊社は研修(人材育成)コンサルティング企業でございます。「交流分析の理論」や「コーチングのスキル」等また私自身の労務士事務所在籍時での「約300社の人事業務の相談・指導の経験」を加味しながら、それぞれの関与先様の研修ニーズに合わせた、オーダーメイドの研修を実践します。競争激化の進む中で、企業活動や組織活動などチームとして機能することが求められるような現場においては、人間関係に関わる諸能力の育成が喫緊の課題となっております。そのために様々な分野で人間関係に関わるトレーニング(研修)が必要とされてきています。「自ら思考し、自ら行動できる、活力ある人材づくり」のために、私どもの研修をご活用して頂ければ幸いに存じます。「企業研修による「人間関係力」強化のご案内」です。何卒宜しくお願い致します。

デザイン・スタジオ
「STUDIO K」
代表
中島 秋津子



事務局長時代はお世話になりました。本当に楽しくてやりがいのある5年間でした。ところでKAGOSHIM熱闘会議は、平成元年に発足した、「人材育成と地域への支援」を目的とするNPO的な団体ですが、「ものづくり、人づくり、ふるさとづくり」をテーマとする工業倶楽部とは共通点も多く、先日は出水地区プラザとKAGOSHIM熱闘会議の共催で、出水市長や多くの市民の方も参加していただいたパネルディスカッションを開催することができました。これからもお互いにコラボして有意義な事業を創造していけると思いますので、よろしくお願い致します。

地域のための“伝える”デザイン・スタジオ「STUDIO K」の代表をしております中島秋津子です。山口県出身で広島・岡山・東京を経由してのち鹿児島に転居、ローカルからの情報発信・流通促進を担うデザイン＆マーケティング会社として2007年開業、2014年に法人化したしました。ちなみにSTUDIO Kの“K”は、鹿児島・九州のK、企画・計画のK、knock & kindness のKです。デザイン・スタジオと標榜しておりますが、「デザインを作る」のではなく、事業課題の解決のために「デザインを活用する」のが基本スタンスです。ミッションは「“伝える力”を会社と地域のエンジンに」、「知られていない」「伝わらない」「わかってもらえない」「なぜか誤解されている」といった問題に日々取り組んでいます。工業倶楽部さんのセミナーが非常に興味深く感じられ、幅広い視野や思考につながるのでは…と考えたことで入会させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。



CRS株式会社
鹿児島支店長 兼
環境事業部本部長
内村 正広



KAGOSHIMA
熱闘会議
会長 米山 高兆

大竹孝明様、小齊平智久様も新たにご加入いただきました。